

データウォッチング

本県の社会資本整備の状況等をデータで見るコーナー。今年度作成しました「県土整備年報'04」からご照会いたします。県土整備年報は、ホームページでもご覧になれます。アドレスはこちら

<http://www.pref.iwate.jp/~hp0600/nenpou.htm>

橋りよう延長のベスト10

| 順位 | 路線名 | 橋りよう名 | 延長 |
|----|-----------|-------|-------|
| 1 | 国 343号 | 藤橋 | 705.0 |
| 2 | 一 相川平泉線 | 高館橋 | 624.4 |
| 3 | 一 繫温泉線 | 繫大橋 | 629.0 |
| 4 | 国 397号 | 小谷木橋 | 595.3 |
| 5 | 一 広瀬三ヶ尻線 | 江崎大橋 | 586.2 |
| 6 | 一 相去飯豊線 | 九年大橋 | 530.0 |
| 7 | 主 水沢米里線 | 桜木橋 | 519.7 |
| 8 | 一 長坂東稲前沢線 | 赤生津橋 | 513.6 |
| 9 | 一 長坂東稲前沢線 | 箱石橋 | 512.0 |
| 10 | 一 江崎金ヶ崎線 | 金ヶ崎橋 | 510.0 |

単位：m



土木建築作品

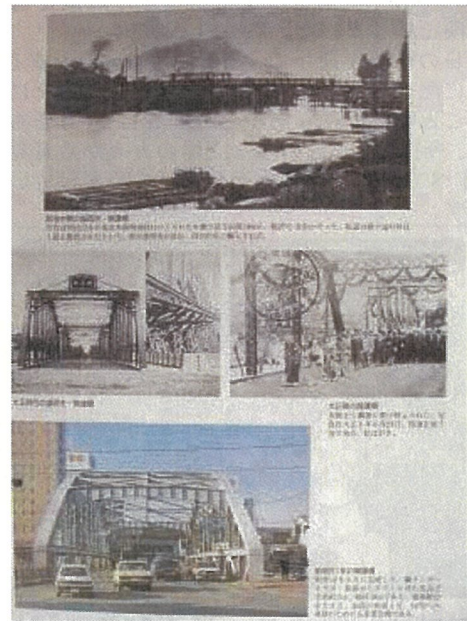
Vol. 2 開運橋 KAIUN-BASHI

県民に親しまれている文化的価値の高い土木建築作品を紹介するコーナー

岩手県には南北に流れる大河北上川があり、北上平野を東西に分割しています。四十四田ダム湖にかかる岩姫橋（☉盛岡環状線）から、宮城県に程近い北上川橋（☉花泉藤沢線）までのおよそ180kmの間に、東西の交流や物流を一手に担ってきた県管理の橋梁が26あります。これらの橋群が、昔から人々の暮らしを支え、また人々に愛され、岩手の歴史を築いてきた大事な建築物であるといえるのではないのでしょうか。その中のいくつかをシリーズで紹介します。

【開運橋】

明治23年(1890)に、盛岡市の新しい玄関口として、東北本線東京～盛岡間開通1カ月前に木橋（私橋）として架橋されました。当初は通行料金（橋銭）を徴収しておりましたが、庶民からの評判が悪く、翌年には市が買収し、後に県に編入されたものです。明治29年、明治43年の洪水で流失し、大正6年(1917)に、2径間の永久橋となりました。橋材をアメリカに発注し、バンクーバー経由で2隻の船で運搬される予定であったものが、1隻はドイツの潜水艦の魚雷攻撃で沈没し、日本に到着した1径間分を見本に、残る1径間分を横浜ドックで造り架橋したという逸話が有名です。（第1次世界大戦中は開運橋を日米の混血児と言っていたそうです）。現橋は土木研究所の猪瀬氏の設計で昭和28年にランガートラス式で完成したものです。（→昭和橋も）。



「いわての土木遺産100選」（(財)岩手県土木技術振興協会発行）で紹介されている当時の開運橋の様子

